

参考資料

参考資料1	草津市の住みやすさについてのインタビュー調査報告書.....	39
参考資料2	Walkin' About@草津～南草津.....	42
参考資料3	街頭調査票.....	51
参考資料4	居住地域区分.....	51
参考資料5	アンケート調査票.....	52
参考資料6	アンケート分析結果.....	56
参考資料7	世論調査(充実感).....	73
参考資料8	世論調査(満足感).....	73
参考資料9	世論調査(不安・悩み).....	74

インタビュー結果概要 I (草津に住んだきっかけ)

家の購入時の価格および通勤時の利便性 (子駅短・高駅長)
 会社の同僚から住む場所として進められた (子駅短)
 体が弱ったときにも生活しやすい (高駅短)
 湖西とも比較したが、新快速の便は大きかった (高駅長)
 親の家のそばに家を持った (子駅短)

※子=子育て世代、高=高齢世代
 駅=駅近く、郊=郊外
 短=10年未満、長=20年以上

インタビュー結果概要 II (草津に住んでみて)

最初に住もうと思った時よりも住みやすい (高駅長)
 仕事が自由業で親のそばにいれるので良い (子駅短)
 他の地域よりも狭い範囲に必要な事が集まっています (高駅短)
 同じ時期に越してきた町内会の人と仲良くなっています、このままここで過ごしたい (高駅長)
 自然と都市の双方が近くて良い (子駅短、子駅短、高駅長)
 機会があれば引越したい (子駅長)
 人が優しい (子駅短)

※子=子育て世代、高=高齢世代
 駅=駅近く、郊=郊外
 短=10年未満、長=20年以上

草津市の住みやすさについての
 インタビュー調査報告書

2017年9月
 立命館大学
 小沢 道紀

インタビュー調査概要

- ・インタビュー実施日 2017年7月28日・29日
- ・インタビュー対象者 13名+1名 (対象者の妻) 計14名
- ・インタビュー方法 半構造化グループインタビュー

インタビュー対象者の選定

- ・住民基本台帳に基づき400名へ往復はがきにて依頼
- ・2017年6月21日に送付、6月29日返送期限
- ・応答率 (インタビュー率) 3.3%

インタビュー結果概要Ⅲ（草津らしい愛着を持てるところ）

de愛広場
連
琵琶湖
草津川跡地の歩道・自転車道
宿場祭り
街道筋の街並み
本陣
矢橋帰帆島公園
など

※子=子育て世代、高=高齢世代
駅=駅近く、郊=郊外
短=10年未満、長=20年以上

インタビュー結果概要まとめⅠ

草津に住居するのは、草津を選ぶ、というよりは、他との比較で利便性が高く、比較的価格が安い点が大きい。ただし、他都市と比較の上で、商業施設と自然の近さ、また勤務先への通いやすさなどのバランスが取れている点の評価が高い。特に近年住み始めた若年層にとって、自転車や徒歩で琵琶湖まで移動がしやすい点が好まれてもいる。また、東海道など歴史的な部分については、住み始めてから気づく。

地域に住み続けている人にとつて、親などの代からの仕事を継いでいたりすると、選択肢がなかったがゆえ、また変えたいと思った行動が実行できなかった経験を重ねたりしたがゆえに、不満を持つ場合が多い。

インタビュー結果概要Ⅳ（その他）

退職後にさらに利便性の高い京都市内などへの引っ越しを考えると、マンションを見に行ったり、妻が引っ越したくなくさそうなそぶりをして、あきらめた。理由は、専業主婦の妻が草津で生活している間に友人が増え、新しい地では友人がいなかったことを気にもしていたから（高駅長）

自然が近く、また生活に必要な施設も整っている（多数）

※子=子育て世代、高=高齢世代
駅=駅近く、郊=郊外
短=10年未満、長=20年以上

インタビュー結果概要まとめⅡ

ただし、非常に大きいのは、いわゆる転勤族の人やその伴侶などが、ほかの地域と比較した際に、草津に住みたいという意識を持っている点である。それは、住んでいるマンションにおいて適度な距離感を持った付き合いか可能で、また場合によっては転勤者が集まっって似て似たような状況を経験しており、互いに理解しやすい点がある。

また、ほかの地域と比較した際には、自分の好みの交通手段を中心にした移動がしやすく、京都への移動も近い、また甘〜クワル等に参加するための移動が容易であるなど、自分の興味や好みに合わせやすいものが買ったりやすい。

その上で、人が優しく、しつかりしたコミュニティが存在しており、安全や安心を共に支える意識が醸成されている。

インタビュー調査から見たこと

居住する入り口

勤務先への利便性や物件の価値感、日常の買い物等の利便さ
住んで良かったという実感

自分の希望したライフスタイルへ合わせる素材が多い
 (歴史・自然・移動手段・食・趣味など)

マンションの場合、既存のコミュニティとの距離も好みに合わせられる

(密接に関わって受け入れられ、また距離を置くことも可能)

子どもの教育に関して通学可能範囲に選択肢が多い

(京都や大阪の私立中高、関西圏の大学)

駅前の場合、歩いて15分程度の範囲で日常生活が可能

(日常の買物、病院等)

今後の課題

住んで良かった実感につながる部分が外から見えない

暮らす生まれの居住者の評価、関西圏出身者の評価、それ以外の地域の出身者の評価のずれと対応

郊外の高齢化への対応と満足度の向上

インタビュー対象者選定詳細

調査地域：・甲府市東区センター南地区、甲府市の外れに広がる地域

調査対象者数：100名

調査対象者属性：性別：男性→女性、年齢：20代→30代、40代→50代、60代→70代、80代以上、世帯タイプ：単身→2人→3人→4人以上、世帯収入：100万円以下→100万円超

属性	インタビュー者数	インタビュー率
性別	100	5.0%
年齢	100	1.0%
世帯タイプ	100	5.0%
世帯収入	400	3.3%

属性	インタビュー者数	インタビュー率
性別	100	5.0%
年齢	100	1.0%
世帯タイプ	100	5.0%
世帯収入	400	3.3%

属性	インタビュー者数	インタビュー率
性別	100	5.0%
年齢	100	1.0%
世帯タイプ	100	5.0%
世帯収入	400	3.3%

草津市の
居住魅力を探る

自分が行きたい場所を訪ねるまちあるき Walkin' About @草津～南草津

東洋経済の「住みよさランキング」で5年連続第1位を誇る草津市。交通利便性が高く、京阪神圏のベッドタウンとしての地位を持つ一方、市内に工場が多数立地することから職住近接を志向する若い世代の流入も多く、高水準の人口増加が続いています。

ですが、草津市は本常に、居住者にとって「住みたい、住み続けたい街」になっているのでしょうか？ 今回のWalkin'Aboutのテーマは「草津の居住魅力発見」です。自由に市内巡りを楽しみながら、草津に愛着を感じ、草津に住みたい、住み続けたいと感じる要素を探し出してみてください。

開催日：2017年9月30日(土)
集合場所・時間：13:30 @JR草津駅東口デッキ広場
再集合場所・日時：16:00 @JR南草津駅東口7-バジヤイバわびこくさつ(UDEBK)

"Walkin' About"は、参加いただくみなさんに、思い通りのコースをたどっていただく
まちあるきです。参加者の方々は、集合場所エリアについての説明を受けたあと、解散。
再集合後に、それぞれの疑問や体験をシェアいただきます。

ナビゲーター：山崎 洋 (大阪ガス(株)近畿営業部・都市魅力研究室)
対象：どなたでも 参加費：無 料 定員：20名 ※定員になり次第締め
申込方法：9月25日(月)までに、電話またはメールで申し込みください
申し込み先：Tel【平日9:30-17:00】06-6205-2366
E-mail: social@hposakagas.co.jp

申し込みの際は、お名前(全角)、ご住所(市・町名)、電話番号をお教えください。
お問い合わせ：大阪ガス株近畿営業部 都市魅力研究室 Tel 06-6205-2366
主催：大阪ガス株近畿営業部 都市魅力研究室
後援：草津市

【草津市とは】
草津市は、琵琶湖に面した滋賀県の南東部に位置し、大津市、栗東市、守山市の3市に隣接しています。古くは草津道と中山道が唯一分岐・合流する宿場町として栄え、現在では、県内で乗車人口数が1位、2位のJR草津駅、南草津駅があるなど、京阪神のベッドタウンとして発展を続けてきました。1994年には立命館大学BKC(びわこ・くさつキャンパス)が開学され、学生を中心とした若者の人口も多くなっており、また大手企業の工場が立地地として全国に知られているほか、湖に面する鳥丸半島には琵琶湖博物館、水生植物公園みずの森などが立ち、イナズマロックフェスや熱気球フライングなどのイベントが開催されています。草津市に面する琵琶湖が観光地として全国的に知られているほか、湖に面する鳥丸半島には琵琶湖博物館、水生植物公園みずの森などが立ち、イナズマロックフェスや熱気球フライングなどのイベントが開催されています。草津市に面する琵琶湖が観光地として全国的に知られているほか、湖に面する鳥丸半島には琵琶湖博物館、水生植物公園みずの森などが立ち、イナズマロックフェスや熱気球フライングなどのイベントが開催されています。草津市に面する琵琶湖が観光地として全国的に知られているほか、湖に面する鳥丸半島には琵琶湖博物館、水生植物公園みずの森などが立ち、イナズマロックフェスや熱気球フライングなどのイベントが開催されています。

Walkin'About@草津～南草津メモ
開催日時：2017年9月30日(土) 13:30～16:00 参加者：9名



草津市は琵琶湖に面した滋賀県の南東部に位置し、大津市、栗東市、守山市の3市に隣接しています。古くは草津道と中山道が唯一分岐・合流する宿場町として栄え、現在では、県内で乗車人口数が1位、2位のJR草津駅、南草津駅があるなど、京阪神のベッドタウンとして発展を続けてきました。1994年には立命館大学BKC(びわこ・くさつキャンパス)が開学され、学生を中心とした若者の人口も多くなっており、また大手企業の工場が立地地として全国に知られているほか、湖に面する鳥丸半島には琵琶湖博物館、水生植物公園みずの森などが立ち、イナズマロックフェスや熱気球フライングなどのイベントが開催されています。草津市に面する琵琶湖が観光地として全国的に知られているほか、湖に面する鳥丸半島には琵琶湖博物館、水生植物公園みずの森などが立ち、イナズマロックフェスや熱気球フライングなどのイベントが開催されています。

Aさん

- ・午前中に琵琶湖博物館へ。琵琶湖の生い立ち、化石の展示、琵琶湖のまわりに住んでいる人のくらし、淡水魚の展示などがあり、とても充実していた。子どもが小学生ぐらいだったら、1日遊べるだろう。
- ・解散後、旧街道を巡って草津駅へ。うはが餅を買って、歩いた。草津産本陣。ガイド付きで見たいなと。資料を置いてあるが、みなさん見るところまでいかないだろうなと。
- ・その後、草津宿交遊館に、簡単な浮世絵の美術をやった。前からやってみてみたかった。
- ・1階にある、共通の入場券をかった。350円。その前の本陣で地図をもらった。
- ・旧道の方は昔ながらのお店が点在。
- ・まちの方が癒しかった。本陣の受付で声をかけてくれたおじいちゃんも。
- ・立木神社を眺め、古川酒造へ。何杯も頂いた。そこで鈴木さんと会流。試飲していたら、奥に入れてくれた。お嫁さんでしょうか。奥の中まで入れてくれた。「天井川」と「棠花」という原酒（昔から作っていたお酒）を買った。もう売り切れていたお酒があった。
- ・杜氏の人が但馬から来られて、住み込んで運っていたそうだった。
- ・そこを出て歩いてみると、酒蔵の方が温かい来てくれて、甘酒まで頂けた。新しいお酒ができるころには買いに来たいなと思った。
- ・そこからここまで歩いて来た。

Bさん

- ・「もし自分が住むのなら」という視点で歩いた。4月から草津で働くようになったので、地名だけは聞いていたが、駅からずつと歩こうと。Cさんと一緒に歩いた。
- ・商店街あたりを歩いた。いつもは決まったお店に行くのと同じ道しかなかったが、今日は普段と違う道を歩いてみた。
- ・歩いていて、ちよつとこわいと感じた。美味しそうなお店があるが、すぐに車が来るのでキョロキョロしている。お洒落なお店があるのに、もったいない。
- ・天井川。あそこは本好き。暖水がちようど上がっていた。エレベーターで上がれる。そのあと階段を下りた。子どもたちが遊んでいた。ボランティアの人たちがいたり、中学生がいたり、陸防運動ができるようなベンチがあったり。
- ・ヨガ教室がある。サルティンボッカのお店も出ていた。兼業だが、駅からちよつと遠く、こわい。
- ・Cさんの娘さんが買われた家を見に行った。湖南農業高校のところ。畑だったところが住宅地になり、道も広くなっている。草津は道が狭いが、ここなら私も運転できそうだと。
- ・駅前には駐車場がないと感じた。どこに車を置かれるかがわかりにくい。堤防沿いのところは満車になっていた。車じゃないと駅までがだいぶ遠い。
- ・南草津の方が、道幅も広くて気持ちいいが、お店は草津の方が楽しい。

Cさん

- ・ライフラインの車を頭に入れながら歩いた。商店街からお寺さんに入るのに、軽四では入れない道幅。そこにガスも水運も入っているの、よく入れたなと。プロハンポンベが多かった。
- ・まめバスは1時間に1本。年末年始は運休。車がないと暮らしにくい。
- ・高菜をよった。立木神社・オムロンのところ。そこから琵琶湖は見えなかつた。
- ・5〜60戸の小規模な宅地造成がされている場所は、線が少ない。また街灯が少ない。
- ・南草津駅への後半は、歩くだけだった。

Dさん

・家は草津・瀬田で職場は草津。この辺はよく知っている。



草津駅東口の特徴は右に阪急OASIS (2008年頃)、右に近鉄百貨店があること (20年)

*この近鉄百貨店は、草津線を敷設した旧・関西鉄道時代から続く列車の検修場の再開路によって出来たもの。反対側には、遊覧案内所となる阪急系の高級スーパーである阪急オアシスも堂々と軒を構えている。

- ・マンションにお医者さんが1階に、そして食べ物屋。コンパクトシティになっている。非常に便利で住みやすい感じ。
- ・食べ物屋さんが集積している。古い居酒屋も新しい呑み屋もあり、ここで完結する。
- ・少し行った所にはコミュニティセンター、消防署の分団があり、ここだけでも便利。
- ・駅前開業の案件。大きな子ども園がついている。そこでコミュニティが1つできているのかなと。



国道に出て、うはがもちやを見てから国道沿いを歩いた。



昔天井川は西道も通っていた。その撤去工事をして良かった。無くなったが、すこし寂しい。

スーパーホテルとスターバックスは賑わっていた。



その側にある、昔からワイン、たばこ、お菓子を売っている「SAKIMURA」というお店に寄った。



・ここから役所の方を預けて、立本神社へ。いまだ改装をしていて、古くからの神社の面影があって、中山道と東海道を分ける石障が後設されてあるのを見ました。
 ・その手前に、地藏盆などを行うスペースがあった。この辺も地藏盆をする。旧のまちだと思った。



古川酒造に寄ったが、声をかけられなかった。
 原酒のワンカップだけ買い、あとから蒸もある客の人が来ると聞かすらしく、どげんかした。



精進地蔵ガイド&スタンプラリーBOOK
 「八酒本」をもらってきた。

・やたらと道沿いに観音さんと先生がいて、高校生が歩いて、聞いてみると、安土から歩いていると。3.2キロ。学校行事らしい。
 ・<Eさん>僕もその高校の出身。僕の頃は春期から歩いていた。
 ・改めて、草津はコンパティティだと感じた。駅前はマンションで、少し離れると戸建てと田んぼ。古くからの酒蔵も神社も残っている。歩きにくい部分を改善できれば。

Eさん

・もともと京都の生まれ。小2から草津に住んでいる。前は湯分町、今は青地町に住んでいる。古い旅館のあるところ。ただ、ほとんど家になく、全国を飛び回っている。
 ・子どもの頃に行った所がどうなっているかを見に行った。
 ・草津駅東口のデックスで、ポケモンゴロをやっている人たちがいた。
 ・そこからデックスを降りて商店街の方へ。日本旅行。日本でいちばん最初にできた店舗。
 ・ビルの1階にある「赤い風船」で有名な旅行代理店。日本旅行の草津店。日本旅行は1905年(明治38年)に草津で野井を創業していたが、その後、日本旅行の草津支店が設立された。その後、この草津支店はその地域の地である。
 ・商店街の屋敷を外しかけている。多かつたのが学習塾・保育園・病院。
 ・中心市街地以外にも開発者さんも多い。
 ・平和堂様にマンションができるようだ。小さい飲食店と、私営の自販置き場とつばらわられている。結構でかい敷地。

・その後、普賢切だところを。今はなくなっていた。
 ・天井川のde愛ひらばの方へ、すくく多く、お店も賑わっていた。
 ・滋賀県でいいと思えるのは、空の広さ。天井川の上に登ると、360度の青空が広がる。空が広いから滋賀に移り住んだという友達が多い。
 ・サイクリング道路を見ながら、市街地の方へ。昔、草津温泉という温泉があり、その頃に古本屋さんがあったが、それはととの昔になくなっていて、建て替えた温泉もなくなり、あたらしいマンションの説明を受けている。マンションが増えたら銭湯に来る人はいなくなるのでは。
 ・本陣から商店街へ。昔は向かい合わせにおもちゃ屋さんがあった。お店はなくなっているが、看板は残っていた。
 ・本陣のそばの「かね吾本店」はずっとやとやとっている。お惣菜も丁寧に並べていて、天童屋生田のお肉を献上したと書いてあった。
 ・エルフイの中の本が2冊、面出しで置いてあった。そこで本を8千円分買った。
 ・南草津には、電車に乗って戻ってきた。
 ・日本中いろいろな田舎をいくと、空が広いと感することは少ないが、滋賀の空の広さは不思議。

Fさん

・高校生。気になった所は全部見てみようよと。中山道のほうを歩いた。
 ・飯沼を見と、神社がたたくさんあった。
 ・de愛ひらばで噴水を見た。住んでいたらここで遊んでいたのかなと。下りたら飯沼があって、古い家があって、瓦をショーウインドーに並べている家があり、説明書きに「天平何年」と書いてあった。
 ・立本神社に行く。川の水がきれいで、綿がきれいだ。
 ・草津川を越えたらすぐだと思っていたが、そうではなかった。
 ・琵琶湖まで走ろうと思っていたが、駅のコインロッカーが一杯で荷物を預けられず、走れなかった。
 ・フェリエの中に、地震の避難場所が多いと気づいた。ここまで津波は来ないけど、ちゃんと考えられているんだと。
 ・空が広い。草津にくるまで高槻あたりに田んぼがあるが、草津に来ると違う。何が違うのかなと。

Gさん

・12時頃に草津駅に着いた。出身は中部地方で、学生時代には大阪方面にいたので何度か行き来した。草津まで来るともう少しだ。当時線路沿いは田んぼのイメージだったが、そこに家が建っていた。
 ・観光案内所がまず目についた。とても親切な方いろいろ教えてくれた。矢橋船堀橋に行きたかったが、遠くに行きにくいと言われて諦めた。
 ・南草津駅は平成8年(1994)に、立命館のキャンパスが出来たのに合わせて出来た。今では南草津駅のが集客が多い。草津駅の衣に集客が多いのは本陣駅ではなく、彦根駅だそう。
 ・南草津は周りに全てが新しく、草津駅とは違う。駅周辺に信濃町の雰囲気が残っていて素敵。迎えられている感じがいた。
 ・叶匠齋(かのうしょうじゅうあん)という和菓子屋の2階がレストランで、近江野菜中心のおばんざい食べ放題をやっている。行ったが、満席で入れなかった。
 ・近藤百貨店へ、クラフハリエ、たねや、駄舎が入っていた。とても見やすかった。
 ・食事してから集合。その後、伊砂神社に行こうと思っていた。他にも砂という名前が多いのが気になっていた。
 ・エントピアホテルの上に入った。下にはスポーツクラブ、結婚式のチャペルが入っていた。そこで写真をとった。
 ・まちづくりセンターをみて、人權センターまで歩いて、折れて田草津川へ。
 ・草津まち歩き新聞がお店の前に置いてあった。
 ・旧草津川沿いを歩いて、坂を下りると東海道に入った。古いお茶屋さんがあり、そこでお話を聞いた。
 ・本陣、交流館を外から見て、太田酒造もみて、どんどん歩いた。

- ・立本神社でお参り、古川酒造へ、そでしみずさんと一緒に見学をした。「天井川」などを買った。
- ・太田酒造はもともと白川酒造のお酒を売っていたのだと。甘酒を頂いた。
- ・気が向いたこと。アルブラサ、平和堂、近鉄など、駅前に買い物ができる場所が一杯ある。
- ・人が雑沓。車もここで止まってこれという所です。止まってこれて渡らせてくれたり。
- ・サイクリング、ランニングなどスポーツをしていて、思い思いにのびのびと暮らしている感じがした。
- ・観光案内所の横に外国人が来た時にシールをはるところがある。アジアの人が多かった。



近鉄百貨店内のレストランから
東をのぞむ



近鉄百貨店 レストラン街なの
に通路に婦人服がたくさんある



草津駅デッキヤ上
宿場町の雰囲気が出ている



草津駅東口
阪急オアシス 平和堂など



市立まちづくりセンター



「コミュニティくさつ」等発行され
活動が活発に行われているようだ



草津駅西口の
バスターミナル



エストピアブラザ



エストピア上から
下にアルブラサ
遠くに琵琶湖



ファミールハイツ
草津 もとは硫黄
工場だったらしい



近商物産 1957 年創業
クリスマスブーツ、
パーチーハイハットなどの製造



旧草津川堤防解除の
ボード 地図断面を
見てみたかったが
時間がなくあきらめた



堤防を切って通じたところ



緑地になっている旧草津川
近くに大きなマンシヨン



天井川の下を走る JR



de 愛ひろばエリアマップ



東海道 道船が程よく
歩きやすかった。



水、取廻

立本神社
立派な本殿



草津川
水が流れている



古川酒造 天井川など
をここで買った



矢倉集会所 他にも各地域に〇〇
会館などが多くあった

Hさん



9/27(水)
下見時

JR 草津駅西
側ロータリー
美しく造られ
ている



船扱いにアイフルのコールセンター。
元は「スキー毛糸」の江州タリヤス



西に少し行くとガールズバー
ゴチャゴチャした街並みでないため目立つ



牛もつ「管谷」。ホルモン系をよく見る
→ここは予約が取りにくいお店



駅東口階段下にレンタカー&サイクル
自転車は350円 スムーズに借りられる



駅東側。旧家の庭を使った駐車場と、家屋を使った居酒屋「壺」





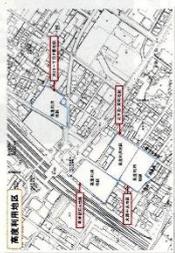
またなか商店街内
駐車対策がしつかり
取り取られていると
分かる



旧中山道の商店街内には、バリエーション豊かな店舗を揃えて更新している。



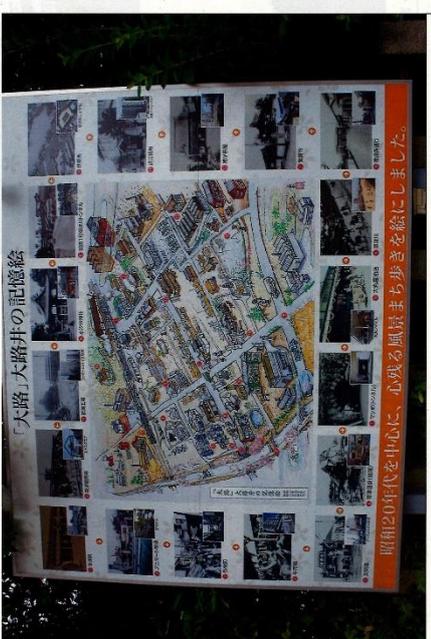
北中西・栄町地区第一種市街地再開発事業。地上26階、総戸数265戸の超高層マンションが建つ。
2019年12月末完成予定。その一角で、仮設店舗の建設が急ピッチで進められている。



*草津駅周辺では、市街地再開発事業が矢張り進められてきた
これが現在の人口増に繋がっている。
草津駅前A地区再開発事業 1985～88 エルティ 932
大路中央地区再開発事業 2001～04 TOWER・111
池川一丁目2番地区再開発事業 2006～09 ザ・草津タワー
北中西・栄町地区再開発事業 2016.1 総合建設認可

滋賀県草津市の「北中西・栄町地区市街地再開発組合」は、JR草津駅前地上26階、総戸数265戸の超高層マンションを建設します。1～2階には店舗も設置。参加組合員は地産地消推進プロジェクト、設計は設計設計、施工は西松建設、建設ニューズによれば、2017年9月25日の時点で解体工事を進めています。引き続き新築工事に着手し、2019年12月末に完成する予定です。

旧再開発事業では地上26階建ての高層棟のほか、地上4階建ての低層棟も建設します。低層棟にはサービスクラスの店舗や住宅を建設。参加組合員の地産地消推進プロジェクトは、高層住宅全体の取得・販売と、低層棟のサービスクラスの店舗や住宅の取得・賃貸します。(WEBサイト「日本の超高層ビル」2017.9.26記事より)



昭和20年代を中心に、心残る風景まち歩きを絵にしました。

小笠井神社前にあった、昔の草津駅前のイラストと写真。
戦後には街道沿いには商店と喫茶施設、草津駅周辺には工場、競馬場、牛市場があったと分かる。



草津町 立派な日本家屋を建てて
地元の大工かと思ってみると「積水ハウス」
と書かれていた。

国道1号線沿いの「牛角」。アルバイト募集
の貼り紙に「新・1年生、1回生 大歓迎」と。
立命大がターゲットになっている。





スーパーホテル
西側に、かつて歓
楽街だった気配
がさすかに残る
町並みが。



東海道と中山道の分岐点
上は旧草津川

草津1丁目あたりは、昔は京町と
呼ばれていたようだ



旧草津川には、カフェ・レストラン、ヨガ教室ができています



草津守山線の歩道には
「農耕車通行可」の標識

西側には広大な田畑が広がる。
稀列りの時期なので、コンバイン
通過後の路面は泥が落ちている。



矢橋河津島あたりの風景。ボートを出して、釣りを楽しむ人が結構いた。



新しい草津川ができる以前
矢橋河津島あたりの風景。ボートを出して、釣りを楽しむ人が結構いた。中でも
当地産、多くの方が釣獲した魚は新鮮な状態で食用です。中でも
この季節に釣獲された魚は、新鮮な状態で食用です。● 矢橋河津島

立本神社近くの碑。
新草津川が、住宅地を移転させて
引かれたことが分かる



草津交流館にある、江戸時代の街道
筋の町並みを再現したジオラマ。



街並みにある「cafe トリコロール」。
昔ながらの喫茶店。



9:30(L)。南草津駅から西に徒歩5分の所に
ある「Sunrise Cafe」へ、12:40の時点でラン
チメニューの「ガハオ」は売り切れていた。

・オープンは3年前。店主はもともと勤め人。昼は2時間ほどランチ営業、夜は「音楽広場」と題して、誰でも参加できるライブイベントを行っている。ピアノやギターを演奏したり、伴奏付きで歌ったりできるライブ、子育てが一段落した、40代より上の世代が集まる。
・以前はミュージシャンを呼んで、お金を払って演奏してもらっていたが、お客さんはあまり集まらなかつた。お金を払ってもらって演奏してもらおうにすると、お客さんが増えた。上手な人が集まるわけではないが、みんな楽しそうに集まる。大賑、朝からもやってくる。



店主から聞いた話。南草津駅の西側は、商店が壊しい。
飲食店で、開業して半年ほどで閉めているお店も。
マツダ、三菱自動車、トヨタのショールームがあるが、
お客さんが車でやってくる業態なので、こちら側にはな
かなか人が歩いてやって来ない。



草津駅前の「阪急OASIS」1階では、様々な種類の惣菜パン、菓子パンを100円で売っている。
そして無料休憩できる場所があり、コーヒーを99円で売っている。
ここはお年寄りだけでなく、多くの世代の人たちに人気の場所になっている。

すぐ隣には、平和堂がある。草津の人たちは、この2つをどう使い分けているのかが気になり、
エルティ草津1階にある喫茶「グレイハウンド」へ。



・喫茶「グレイハウンド」の店主は59歳。3代目で、継いでから12、3年ほどになる。お店自体は40年ほど続いている。以下、店主に聞いた話。

- ・この辺りの主婦は、近頃でこれを買って、平和堂でこれ、阪急オアシでこれ、と買物を楽しんでいる。どこかの駐車場に車を入れて、買い物だけでなくフィットネスに行ったりも。
- ・草津駅のメインは、駅の向こう。ショッピングモール「A SQUARE」には、東京や大阪にしか出店していないブランドが入っている。週末には守山・野洲からも、大津からもやってくるので、1号線や8号線は渋滞する。
- ・「入り人」が多い土地。地の人は3割くらい。

*草津市は昭和29年10月に市制を施行。当時の人口は3万2千人。平成29年8月時点では19万2500人。
この間に10万人が増えている。その間には、以下のようなことがあった。

- 1971年 草津駅発着となる新快速の運転が開始
- 1980年 草津線全線電化
- 1994年 南草津駅開業
- 2011年 南草津駅が新快速停車駅に

・歳が子どもの頃には、四国・九州からの転校生が多かった。彼らは気が強かったため、地元の子たちは圧倒されていた。また、集団生活で関西に出てきて、綾羽高校の夜学に通っていた子も多かった。
夕方までは工場で働き、工場のバスに乗って高校へ。

・「A SQUARE」は、綾羽高校の工場跡地の再開発（その前は競馬場だった）。綾羽高校はそのすぐ北側にあった。
・滋賀県では、勤め人の半分が工場で働いている。

*県内産産生に占める第2次産業の割合は40.0%。うち製造業の割合は35.4%で全国1位（026県民経済計画/内閣府）

- ・工場で働く人が多いので、市内にはラーメン、ホルモンなど、がっつり食べる系の店が多い。
- ・また日曜日の客の引込みが早く、夕方4時、5時以降は人がいなくなる。空席の出動が早いからか。
- ・またメーカーで働くホワイトカラーの人たちには、転勤が多い。5年くらいで入れ替わる。
- ・駅前のマンションには、メーカーが買い上げて、従業員を住ませているところも多い。
- ・駅前マンションには、30~40代のファミリー層が住んでいる。「どこか少子化？」というくらいに子どもがいる。

*滋賀県は、全国と比べると年少人口の割合が高く、老年人口（65歳以上）が低い（平成29年23.2% 全国では25.0%）

・草津市はJRのトレン（トレーニングセンター）がある。その関係者が数千人はいる。この辺りのマンションにもいる。

*JRAトレーニングセンターは、競走馬のための調教施設。昭和44年に開場。

- 県民では、調教師：約100名、調教助手：約960名、厩務員：約280名 が所属している
- *個人馬主登録の要件 ・所得金額が、過去2か年いずれも1,700万円以上あること
- ・資産の額が7,500万円以上あること （いずれもJRAホームページより）

・今また30層近いマンションを建てようとしている。地上げには10年位かかっている。あれが建つと、また「入居人」が増えるだろう。

・「tat home」で検索してみると、中古マンションは、草津駅から徒歩10分以内、3LDK、65~75㎡、築5~15年で2000万円台、中古戸建では、駅から徒歩orバスで15~30分、4~6LDK、150~200㎡、築20~30年で2000万円台、あたりがポリュームゾーンになっていた。

・「TA SQUARE」は、広い世代の来店客でも賑わっていた。

南草津駅東側。新たに建った住宅や商業施設で賑わう。ここはもともと寂しかったところ。

駅東から国道1号線を東に渡った野郎町は旧村で、昔ながらの風景が残る。ここは立命館大学生の通学路になっているようで、「生活道路」のバイク・自転車での通行の自粛を要請する看板が立っていた。









参加者氏名など、個人が特定される記載内容や表記誤りについては草津未来研究所で訂正

参考資料 3 街頭調査票

【調査場所】	_____			【調査時の注意】 ※買物帰りのお客様へ聞き取ること（来店手段がわからないように） ※子連れ世帯 又は 65歳以上に見える方へ聞き取る（該当しない場合はお詫びして断る） ※子育て世帯は、小さいお子様が世帯にいるか確認 ※市外居住者（該当しない場合はお詫びして断る） ※愛着を持てる場所は誘導（例示）しない	
【対象者情報】					
居所	近隣住民	・ 駅周辺住民	市内その他		
住民歴	10年未満	・ 10年以上			
性別	男	・ 女			
年齢	子育て世帯	・ 65歳以上			
交通手段	車	・ 自転車	・ 徒歩	・ その他（ ）	
【アンケート】					
居住きっかけ	生まれてから	・ 引っ越し	・ 再転入	・ 結婚	
転入者選択理由	通勤	・ 親	・ 住環境	・ その他（ ）	
居住感想	住みやすい	便利	・ 住環境	・ コミュニティ	・ その他（ ）
	住みにくい	不便	・ 住環境	・ コミュニティ	・ その他（ ）
愛着を持てる場所	de愛ひろば	・ 蓮	・ 琵琶湖	・ 草津川跡地歩道等	
	宿場まつり	・ 街道筋	・ 本陣	・ 矢橋帰帆島	
	その他（ ）			・ 無	
住み続けたいか	住み続けたい	・ 住み続けたくない	・ 解らない		

出所：草津未来研究所作成

参考資料 4 居住地域区分

西洪川	1	西矢倉	2	南笠町	3	北大萱町	4
洪川	1	東矢倉	2	橋岡町	3	下笠町	4
大路	1	桜ヶ丘	2	下物町	4	山寺町	4
西大路町	1	野路東	2	芦浦町	4	馬場町	4
南草津	1	南笠東	2	長束町	4	岡本町	4
野路	1	笠山	2	上寺町	4	北山田町	4
平井	2	川原	3	志那町	4	山田町	4
野村	2	上笠	3	志那中町	4	南山田町	4
若竹町	2	草津	3	下寺町	4	御倉町	4
東草津	2	青地町	3	片岡町	4	矢橋町	4
西草津	2	追分	3	穴村町	4	新浜町	4
草津町	2	木川町	3	新堂町	4		
若草	2	矢倉	3	駒井沢町	4		
追分南	2	野路町	3	集町	4		

地域（1：新市街地、2：旧市街地、3：新旧混在地、4：郊外）